

地域の人的ネットワークを活用した共生社会実現をめざすための実践的研究
—インクルーシブ・キャンパス/コミュニティ・プロジェクト (ICP) —

神吉宇一 友田奈津美 上野まき子
広瀬新朗 明石修 後藤新 渡辺恵司
中野玲子 疋島ヘルミニア
Lopamudra Tripathy
橋本陽子 佐藤菜月



本研究では江東区および武蔵野大学において、多様な人が共に生きることができるインクルーシブな場を創出するための三つの取り組みを行った。

1) 江東区大島地区における「みんなで多文化交流 in 大島」では、地域の町会や団地自治会、外国人コミュニティ、区内の市民団体等と協力し、月に1~2回の頻度で交流イベントを実施した。本取り組みでは、企画・実施のための任意団体を2021年11月に立ち上げ、多文化共生の取り組みをどのように進めるかについて、住民参加型のディスカッション会を複数回開催し、地域住民との対話を通して企画を練った。そして2022年度に、本研究費を活用し、さまざまな取り組みを行った。特に重視したのが、外国籍住民の積極的な企画参加と、可能な限り複数の言語で活動に参加できる機会の創出である(詳細は報告書参照 [https://](https://drive.google.com/drive/folders/1EW7DBo6jrjigyK7aHdbl8TZz1t8fNb2f)

[/drive.google.com/drive/folders/1EW7DBo6jrjigyK7aHdbl8TZz1t8fNb2f](https://drive.google.com/drive/folders/1EW7DBo6jrjigyK7aHdbl8TZz1t8fNb2f))。また、これら取り組み成果の発信として、江東区社会福祉協議会や多文化社会専門職機構、The Well-being Week2023 等での発表、「すみだ万博」でのブース出展による区外への展開、学会での発表による学術的な側面での発信などを行った。

2) 墨東特別支援学校と武蔵野大学の協力による障がいのある生徒の社会参加を促進する取り組みでは、本学学生が特支生徒の校外学習を企画し、アートパラ深川の引率を行ったり、大学訪問企画を実施したりした。大学訪問では、DS学科、看護学科、ロハスカフェ有明、入試センターに協力を得て充実した大学訪問・見学を行うことができた。

3) 大学における食の多様性を考えるプロジェクトでは、屋上菜園および区内の障がい者就労支援施設と協力し、食の循環と多様性を考える学内イベントを実施した。実施に際しては学内各部署からさまざまな協力を得た。詳細は武蔵野大学 SDGs ページ参照 (<https://sdgs.musashino-u.ac.jp/product/20230301/>)。

本研究の成果を用いて、2023年度以降も継続的にインクルーシブな地域や大学キャンパスを創出する取り組みを行なっている。